



お久しぶりです。みなさまいかがお過ごしでしょうか？
さて、2004年10月23日 土曜日 ホテルニューオータニにて、
華輪会総会ならびに20周年記念行事（安藤優子さんご講演）・祝賀会を行いました。総勢約500名の盛会となりました。ご出席いただきましたみなさま、どうもありがとうございました。

総会に先立ち、事前アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケートによる多数決の結果を下記のとおりご報告いたします。



Q1	はがきで開催通知をしてもよい。	YES 100%
Q2	通常総会を学園祭に合わせて開催してもよい。	YES 98%
Q3	会計報告は、数年分まとめてもよい。	YES 97%
Q4	誰も役員をできなくなったら…	活動しなくてよい
Q5	女子短大卒業生だけの集いにこだわる。	こだわらない 32% 未記入 58%
Q6	華輪会HPを見たことがある。	NO 74%
Q7	華輪会HPは良く見る。	NO 96%
Q8	どんな時に見る。	見ない 72% 案内が届いた時 17%
Q9	掲示板に対する要望。	経費をかけてまで要 らない。49% 不要 46%
Q10	今後HPを見ようと思う？	YES 66%

アンケート結果をもとに、総会にて**今後の方針**が以下の通り決定いたしました。

総会について

- ・総会（通常総会）は毎年行い、記念年度にはイベント付総会（特別総会）を予定。
- ・通常総会は葉書による開催通知を行い、基本的には工芸大学厚木キャンパスの学園祭にあわせて工芸大学の一室をお借りして開催予定

会計報告について

- ・会計報告は通常総会にて毎年行う。ただし、会員への情報公開のため特別総会開催時にまとめて資料送付する。

総会承認後の会計簿は会員に随時開示(*)する。

(*)会計簿閲覧希望者は事前に事務局に申し入れ、閲覧日時を調整することとする。

会計監査は監査希望者を会員から募集する(*)。

(*)会員全員を対象とするため、年度末まで受付。希望者複数の場合は常任委員会により審議の上決定。

審議事項：希望理由、会計監査の常識の有無、監査日調整の可否等。

華輪会役員について

・基本的に会員による運営を行う。ただし、どうかしてでも活動の継続を希望する声も三分の一あるため、活動継続のための方策も今後検討。

会員の集いについて

・会員限定にこだわらないという結果がでたため、会員以外の同席参加、または何かしらのイベントに華輪会が参加することなど可能性が広がった。会員の意思として今後、特別総会におけるイベント等の企画に反映。

名簿について

・名簿の発行は、数年おきだと、必要時に最新版とは異なり、最新の内容の問い合わせもあることや定期的発行は、印刷費用も膨大となるため、必要な際に随時依頼いただき、学年単位での個別発行に変更し、厳正な管理を致します。(H15年度総会で承認済み)

HPについて

・華輪会HPの存在を知らない方も多かったが、積極的にアクセスするとの意思表示を頂いたため、内容を充実させることで会員にアクセスしていただけるように努力する。(内容充実については、希望をメールなどでお寄せいただきたい)

・掲示板は経費をかけてまで要らない、または不要が会員の総意であるため作成しない。

・工芸大学のサポートにより今後もHPサーバは大学で維持管理いただけることになった。

華輪会のHPアドレス

<http://www.wjc.t-kougei.ac.jp/karin/>

華輪会事務局のメールアドレス

karin@cometcom.co.jp





20周年記念行事 安藤優子さんご講演

手袋好きが高じ、白い手袋をはめてエレベータガールをしていた時にテレビ関係者にスカウトされたことがこの道に入ったきっかけであったそう。

若い女の子だからとニュース番組の添物的な存在として報道の世界との関わりをスタートさせた安藤さんも、最初は人の心にまで土足で入るかのようなメディアをよく思っていなかったそうですが、他の記者とは異なったスタイルで、初取材にもかかわらず金丸自民党幹事長(当時)からコメントをとったお話は笑いの中にもプロ根性を感じさせるものでした。

まだ駆け出しのころ、金丸邸玄関前で雨の中傘をさしチェックのミニスカート姿で出来るだけ哀れっぽく長時間一人ぼつんと立ち続けていたそうです。そんな安藤さんを記者ではなくファンの女性と期待してか(?)金丸氏ご本人がキャメルの上下(らくだシャツ)姿で現れたそう。

安藤さんが組閣について質問すると、金丸氏は(ファンではなく、記者かとはっきりしながらも?)「政治を掌るものにとって今日ほど心躍る日はない。」と一言語られたそうです。

TVが大嫌いで他の記者には「帰れ！」と怒鳴ることで知られていた政治の大物がキャメルの上下(らくだシャツ)姿!で玄関先に現れ、そんな方からたった一言とはいえコメントを取りデスクから驚かれたというエピソードには笑いながらも感嘆させられました。

世界のジャーナリストから“本物のジャーナリスト”と称され、現場主義を貫かれる安藤さんと報道との関わりが、まるで何も知らないフツの“女の子”としてスタートしたというご講演にとても親近感を感じました。普通の女の子が本物のジャーナリストと称されるようになった転換点、転換理由など特別なきっかけがあればお伺いしたいと思いましたが、何事にも真剣にぶつかっていられる姿勢が蓄積されて現在の安藤さんにつながっているのかもしれないと感じました。

安藤優子さんの印象は華やかでシャープなイメージだったのですが、高校の時の留学経験やTVの世界、TVに対する安藤さんの印象や考え、取材の様子など豊富なエピソードを伺い、とてもお茶目な一面をも垣間見させていただきました。

今をすみずみ生きてやろう。生き生きしていたい。明るく大きな声でいたい。明るくいたい。そうあり続けようと思いつけている。そんな安藤さんの向上心がTVでみる安藤さんの強さとなり、お茶の間に輝きとなって映し出されていたんだなと感じました。

わかりやすく親しみやすい話題でありながら私たち一人ひとりの生活への取り組み姿勢に刺激を投げかけるお話だったと思います。

また、当日は安藤さんの著書を限られたお時間の中、ご本人自ら販売もしていただき売場に会員が殺到していました。「あの娘は英語がしゃべれない!」「似合う服が見つからない!」「以上、現場からでした。」など、ご本人の体験をもとにした本をサイン入り!で販売してくださいました。こちらの本も安藤さんの素敵な生き方を垣間見ることの出来るそれぞれ趣向の異なる内容となっています。ご興味のある方は是非ご一読下さい。



新潟県中越地震のお見舞いについて

みなさまご存知の通り、華輪会総会(20周年記念行事)開催当日の夕方、新潟県を中心とした中越地方に深刻な被害をもたらした大地震が発生しました。

華輪会では、新潟近隣に在住の会員へお見舞いの葉書をお送りいたしました。7名の方からお返事を頂戴し、被害はあったものの大丈夫です、とのメッセージをいただきましたので、会員のみなさまにご報告申し上げます。



平成16年度総会ならびに20周年祝賀会での会長挨拶を出来る限り忠実に再現してあります。ご参加いただけなかったみなさまも当日の様子を感じていただければ幸いです。

平成16年度総会

ご紹介いただきました宮永です。

本日は皆様お忙しいところ、大勢ご参加頂きありがとうございます。本日はみなさま、この後の安藤優子さんのご講演を楽しみにしていらっしゃると思いますので、ご挨拶は短めにとっておりますが、まず、みなさまにお詫びして訂正しなければ成らないことがございます。大変恥ずかしいことではございますが、総会開催数の数え間違いをどこかでしていたようです。1年ずれてカウントが始まっておりました。このたび、閉校予定に際しまして華輪会の歴史を一つ一つたどりなおす作業中に気づきました。

私たちの同窓会は昭和57年に母校新設と同時に発足いたしております。この時点では正会員はまだおりません、在学中の準会員のみ構成でした。昭和59年に第一期生の卒業をもって正式始動を迎えました。ちょうどこの時に第一期生により、華輪会と命名されております。

この華輪会としての正式始動を起点といたしまして、今年がちょうど20周年にあたります。平成14年度総会でご承認いただきましたように、記念の年、区切りの年となりましたので、今年は盛大にこちらのニューオオタニさんでニュースキャスターの安藤優子さんをお招きしての記念行事を開催させていただきました。いまだかつてない大人数のご出席を頂いておりますので私たち役員の方針・企画にご賛同くださったものと役員一同うれしく感じております。改めてみなさまのご参加に御礼申し上げます。

そして、今回の記念行事では今までにないことをもうひとつ行っております。それは、講演会終了後の祝賀会に招待客をお招きしているということです。

毎年お招きしております母校の先生がた教職員のみなさまのほかに、東京工芸大学の理事長や学部長先生、芸術学部と工学部の同窓会の会長さまはじめご出席いただける役員の方々をお招きしております。私たちの華輪会が、東京工芸大学の中にあつて妹分として存在していることを力強くご支援くださっている方々です。またとない機会ですのでお礼の気持ちをこめてご招待申し上げます。みなさま方にとりましては、見慣れないおじ様方のお席ということかもしれませんが、そのような事情です。失礼のないように、よろしくご協力いただきたいと思います。



さて、前置きが長くなりましたが、折角大人数ご参加いただいた総会ですので今後の華輪会方針をもう一度ご説明させていただきます。HP を既にお読みいただいた方もいらっしゃるかとおもいますが、大きな柱は2点ございます。

- **華輪会の独立的活動の維持**
- **工芸大学との協力体制の整備・維持**

今回の総会ご案内と同時に送付させていただきましたアンケート結果ご報告とそれを元にした今後の具体的な活動内容は後ほど副会長の加藤よりご説明させていただきますが、この2点を中心に活動してまいります。母校閉校後も兄弟校である工芸大学、またその同窓会との協力体制を明確にすることで、華輪会の足元が揺らぐことのないよう努力してまいります。本日の祝賀会の席に、工芸大学の理事長や同窓会会長がご列席くださることもその表れのひとつとご理解いただけるかと存じます。

これからの長い将来に渡って、皆様が東京工芸大学女子短期大学部の卒業生であるという誇りを胸に、各分野にてますます活躍いただけるよう、華輪会は卒業生皆様の心のよりどころとさせていただけるように努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻そしてご協力をお願いして私のご挨拶と代えさせていただきます。

ご挨拶に続きまして、私から会員みなさまに重要な提案がございます。

華輪会顧問をこの20年以上の長きにわたりお引き受けくださっていた永田先生が昨年度をもちまして母校を退職されました。従来、顧問の先生は大学との連携を図るという意味でお願いしていた経緯がございます。永田先生ご自身から顧問辞任のお申し出もございましたが、私たち卒業生一同からのお願いとして引き続き華輪会の顧問をお願いしてはいかがかと存じますが、みなさまいかがでしょうか？

補足

全員一致で永田先生に引き続き顧問をおねがいすることと致しました。

その後お電話にて永田先生よりご快諾いただきました。



20周年祝賀会

会長を務めております、宮永です。

本日は皆様お忙しいところ、大勢ご参加頂きありがとうございます。

ご来賓の皆様にはご多忙中のところ、華輪会の20周年祝賀会にお越し頂き重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、この度、私たちの華輪会は創立20周年を迎えることが出来ました。振り返りますと、昭和57年に母校新設と同時に同窓会として発足いたしております。この時点では正会員はまだおりませんでした。在学中の準会員のみ構成となっておりましたが、昭和59年に第一期生の卒業をもって正式始動を迎えました。

ちょうどこの時に第一期生により、私たち女子短大の同窓会は、華輪会と命名されております。この華輪会としての正式始動を起点といたしまして、今年がちょうど20周年にあたります。

折りよくか、折悪しくか、まもなく母校閉校という残念な事態を迎えます。しかし、母校はなくなりましても、私たち卒業生はこれから先もずっと、東京工芸大学女子短期大学部の卒業生でありつづけます。また、この20周年をひとつの節目として、会員みなさまのライフサイクルも一区切りを迎え、同窓会の存在が大きくなっていくことと存じます。この節目のときに、今一度ご自身を振り返っていただき、あらためて母校恩師のみなさま、教職員の皆様にはお礼申し上げたいと思います。みなさま、盛大な拍手をいかがでしょうか？

それから、今回の20周年記念行事がこのように盛大に行うことが出来たのは、母校後援会さまのご寄付によるところが大きいです。みなさまのお手元にごきます記念品もそのおかげで作成することが出来るようようになりました。ご寄付を決断くださった後援会会長鈴木さまが本日ご来賓としてお越し下さっております。感謝の気持ちを拍手で表してはいかがでしょうか？

先ほどの総会でも申し上げましたが、現在の華輪会は2点の方針をもって活動しております。

ひとつは、華輪会の独立的活動の維持、もうひとつは、工芸大学との協力体制の整備・維持です。

母校閉校後も兄弟校である東京工芸大学とその同窓会様方と連絡を持ち続けることで、今後も華輪会会員が不安を感じる事無く同窓会に集えるようにしていければと思っております。本日は、東京工芸大学理事長の小野さま、芸術学部同窓会会長田沼さま、工学部同窓会会長新さまを筆頭に大変お忙しい中、この場に関係者の方々がお越し下さっていることも、私たち華輪会が東京工芸大学の中にあって妹分として存在していることを力強くご支援くださっていることの現われと存じます。華輪会会員のみなさま、折角の機会ですから、お礼の気持ちを拍手で表してはいかがでしょうか？

さきほども申し上げましたように、20周年を向かえますとみなさまのライフサイクルもひと段落つく方々がだんだんと増えて、ひとつクラス毎や卒業期毎の同窓会でも、と思いつく方々も出ていらっしゃると思います。そうしたときの呼びかけには名簿が必要です。卒業生の名簿管理は華輪会が行っておりますが、この20年でかなり多くの方が住所不明となっております。今回は安藤優子さんの講演を聞きたいが住所変更の連絡をしていなかったから案内状が届かなかった、というお問い合わせが多数ございました。

会員のみなさまからご連絡を頂かないといういろいろなお案内はお手元に届かなくなってしまいます。お引越しの際は、華輪会へも忘れずにご連絡頂き、同窓会として集えるチャンスを逃さないで頂きたいと思っております。私たちの華輪会は今後も節約しながらも積極的な活動を行っていきたくと思っておりますが、積極的な活動とは、華輪会会員みなさまそれぞれの自発的な行動によっても広がっていくものと

期待しております。

このたびの20周年として歴史を振り返るにあたり、私たちの母校、東京工芸大学女子短期大学の設立は、日本で初めての秘書科として、日本における秘書学の確立を目指して創設されたということを伺いました。私たち卒業生が母校から与えられたものはそのような高い理想に基づいて人間的魅力あふれる先生がたからご教授いただいたものです。

東京工芸大学女子短期大学の卒業生ここにあり！

いつも胸を張って皆様が各分野でご活躍いただけますことを祈念し、ご来賓のみなさま方には今後とも末永いご指導ご鞭撻をお願いして、私のご挨拶と代えさせていただきます。

以上



2004 年度 華輪会 役員

名誉会長	小林 信行	華輪会顧問	三井加寿恵
会長	宮永 悦子	華輪会顧問	永田 照子
副会長兼会計委員	加藤 桂子	華輪会顧問	鈴木 万里
副会長兼広報委員	大長 由美恵	参 与	三田村江美子
広報委員長	高木 玲子	参 与	刑部 里恵
会計委員長	伊藤 美和		
渉外委員長	宿野部由美		
渉外委員	刑部 まゆみ		
渉外委員	三浦 佳子		
会計監査	簡 奈津子		
会計監査	福田季美子		

2005 年度春季生涯学習

なつかしい女子短大関連の先生方も多数講師陣に参加されます、2005 年度春季生涯学が行われる予定です。ぜひ、もっと習ってみたいという方はいかがでしょうか？

2005 年度春季生涯学習の紹介ホームページ

<http://www.bas.t-kougei.ac.jp>

編集後記

今回、20 周年という節目にあたり、盛大に総会を無事終えることが出来、ホっとしています。そして、この広報誌に記録を残せることで、さらに再確認のうえでも、ひとつの総会を締めくくれた、うれしさがあります。次も、楽しい総会が出来るよう、がんばってまいりたいという気持ちです。これからも、よろしくお願いいいたします。

広報委員

華輪会のHPアドレス
<http://www.wjc.t-kougei.ac.jp/karin/> 華輪会

事務局のメールアドレス
karin@cometcom.co.jp

